



天白こじょう会だより

107号 2023/3



発行/天白こじょう会
名古屋市高年大学鯉城学園

目 次

項 目		タイトル	投稿者	頁
表 紙		天白川	井熊 重義	－
目 次		—	—	2
会長挨拶		今年の天白こじょう会への取り組み	小島 明	3
役員会報告		10月～1 月	小島 明 青山 博美	3～7
総務報告		37期生向け地域ミーティング／34期生向け区 会説明会	青山 博美	8
活 動 報 告	ボランティア	鶴舞公園クリーンキャンペーン実施報告	小島 明	9
	行 事	いりなか界限歴史散策	小島 範雄	10
		グラウンドゴルフ交歓会に参加して	八木 勝男	～
		令和5年 針名神社初詣	市川 正信	11
		歴史散策：大高に参加して	青山 博美	12
		16区フェスティバルの開催報告	馬場 興樹	13
		ブロック会	御幸山ブロック会の1 年を振り返って	佐々山 浩将
	天白ブロック（新年会に参加して）		遠藤 信子	15
	原ブロック会の活動報告		小川 司郎	
	愛護会・緑道	天白川緑道清掃活動に参加して	青山 博美	16
		天白公園第4愛護会活動の案内	水野 正弘	
	同好会	麻雀同好会の1 年を振り返って	佐々山 浩将	17
		囲碁同好会活動のご紹介	奥村 恵子	
		リズム体操同好会に参加してみませんか	山内 君子	18
		天天会活動のご紹介	西 かず彥	
		今期の健康ウォーキング同好会を振り返る	小島 明	19
		カラオケ同好会に入会して	稲垣 比佐代	20
		絵手紙との出会い	北條 道子	
自由投稿		映画「MINAMATA」ーミナマターを観て	斉藤 昌和	21～22
行動予定表		3月～7月	青山 博美	23
巻 末		短歌（4首）	斉藤 昌和	－
		訃報/総会告知/編集後記/編集スタッフ	事務局	

会長挨拶

今年の天白こじょう会への取り組み

32 期 地域B 小島 明

昨年末からのコロナ感染第8波は、愛知県は年末に入り東京都に次ぐ感染者数が続きましたが、2月に入って少し落ち着いた状態になって来ました。

今年の1月12日の針名神社初詣はコロナ禍にも関わらず18名の参加者となり、特に37期の現役生が1名参加されたことは、毎回学生への案内を続けた成果と喜んでいます。

又、同月20日には鯉城ホールにて入会説明会が有り、天白在住の34期生の15名の内8名の方に参加頂きました。驚いたのは早々に1名の方から天白こじょう会と太極拳同好会の入会届を頂き、もう1名の方からは「2月22日実施予定のボッチャ体験会」の参加届を頂きました。他の学生からも具体的な質問が多く、2月27日の学園からの入会者報告が楽しみです。

今は4月19日の総会に向けての準備に追われていますが、残念ながら退会される方も少しずつ報告が入り、役員の構成に四苦八苦の状態が続いています。

鯉城学園生や以前に卒業されたOBの方にも入会して頂ける様に努力をするつもりですが、会員の皆様にもご近所のOBの方へのお声掛け、ご紹介を宜しくお願い致します。

こんなコロナ禍の中ですが、4月の総会の後に4年ぶりの食事会を計画致しました。今後の状況も気にはなりますが、少しずつウイズ・コロナになじむ事も必要かと思う様になってきました。

天白こじょう会の益々の繁栄を願い、私の挨拶とさせていただきます。



役員会報告（R4年10月～R5年1月）

32 期 地域B 小島 明

33 期 地域A 青山 博美

役員会 10月8日(土) 天白区在宅サービスセンター・研修室 20名出席

会長挨拶：10月から生涯学習センターが使用不可。会議の場所があちこちするが、場所を間違えないように。センターまつりで開催の趣味の作品展には300人以上の来場者があった。皆様のご協力に感謝します。来期は何名かの新加入があっても役員の顔ぶれはほぼ同じようになると思う。引き続き皆様のご協力をお願いします。

鯉城会：①ホームページのお知らせ欄に「センターまつり・趣味の作品展」のアクセスを含む案内を記載。他区鯉城会の作品展の日程は鯉城会HPを。

②16区フェスティバル：競技種目を決定。最後の盆踊りの曲目を決定。

当日の集合場所、服装について質問が出て、それに対する回答があった。

③OB文化祭：3/9に開催すべく場所を確保した。天白こじょう会の同好会は参加しない。

行事G：①趣味の作品展、来場者は295名。体育館の塗り絵に21名来場。

②12月企画の「中川運河クルーズ」はコロナ感染者が収まらず中止。代替え企画は行わない。

③針名神社へ初詣：1/12（木）10：00に地下鉄平針駅改札口集合。

ボランティアG：鶴舞公園クリーンキャンペーン：10/1（土）に実施。天白こじょう会からは14名、天白区在住の34期生が2名、37期生が4名で、計20名の参加があった。

ブロック会：原ブロック会が10/7（金）に開催。6名+小島会長が出席。

鈴木泰治さんから「古文書による天白区の地名の由来について」の講演と昼食会を実施。

来年度の総会について：令和5年4月19日（水）10：00～天白生涯学習センター・第1集会室で。懇親会に付いては次回の拡大役員会で確認する。

来年に向けて小島会長から：来期も人員不足のため、31期、32期、33期中心に展開せざるを得ない。ご協力をお願いするとの発言あり。

八木さんから、愛護会も同好会も会員数が減っている。役員も知恵を出して検討会を開いて欲しいとの依頼あり。

⇒3月に出す会報は、特に新入会員へのアピール効果があると思うので、積極的に記事を出して頂きたい。11月発行の106号は在校生全員に配布します。

★この後、小島副会長、伊藤リーダーは不在であったが、趣味の作品展の反省を行った。

- ・センターまつりは3年ぶり、まずは実行するという方向だったが、コロナ感染者が減らず、規模やチラシの配布を縮小した。よって、来場者が少なかった。
- ・出展者が減ってきている。もっと自分たちも出すようにしたい。
- ・もっと敷居を低くして良いのでは。
- ・作品を持ってくるのが難しい人に配慮が必要。今回も一部で引き取りを実施。
- ・作品が少ないからと言って、会員外に出展を依頼するのはおかしい。

⇒この点については4年前にOKとしたが、来期の実行委員会で決めたい。

リーダー会 11月11日（金） 天白区在宅サービスセンター・ボランティア室 8名出席

＊主に拡大役員会のレジュメのチェックと、地域ミーティングへの対応、趣味の作品展への反省（2回目）、等を話合った。

会長から：天白社教にポッチャの貸し出し用器具が入った。機会を作って説明会を開き、順次、会の中に広めていきたい。

- ① 来期の役員について：交代が必要な方が多いが、32、33期生が少ない。特に鯉城会幹事はやる人が多い。31期以前の方に協力をお願いするしかない。
- ② 地域ミーティングについて：今回は37期生（1年生）で陶芸クラスが対象。なぜ以前のよう各区ごとにできないのか理解ができないか学園の方針とのこと。
- ③ 趣味の作品展への反省（前回は小島範雄副会長が不在だった）
 - ・本年度の各区の開催場所を見ると、区役所の講堂を使った所が3区あった。ただ天白区では使い勝手が判らないので、当面はセンター祭りと共催できる生涯学習センターを使っていきたい。

- ・記入して頂いた名簿を見ても、他区の役員や学園関係の来場者が判らない。来場された場合、お礼の電話も必要。改善が必要である。
- ・受付の場所が悪く、名前を記入せずに入場する人も見られた。
- ・出展リストに書いていない物が出たり、数が違ったり名前が変わったりした例がある。会報をまとめる時、すごく苦労した。リストを作成してからの変更は認めないで欲しい。
- ・展示後、作品を持って行っても良いと言われた方があり、好評であった。今後もそういうものが有ると有難い。また、何か記念になるものを出せないか。

★トラブル（展示品の破損）について

- ・70才以上の人が慣れない作業をするのだから、トラブルの発生をなくすことは無理と思う。名東区では展示物の不慮事故による破損に関しては責任をとれないと明記しているとのこと。
- ・不安定な展示物については、出展者に転倒防止を考えてもらう。
- ・会員外の出展だとトラブルが発生した時、すぐにきちんとした対応ができない。会員外の出展については連絡先をきちんと聞いておくか、会員外の出展は認めないようにすべき。（同好会の共同制作、講師の作品は除く）
- ・作品の写真の写し方は、今回のトラブルを踏まえ、工夫する。

拡大役員会 11月12日（土）天白スポーツセンター第2会議室 36名出席

*開会に先立ち、11月4日に亡くなられた八木良三さんに黙祷をささげた。

会長挨拶：コロナ感染がまた増えている。現状東高西低だが、部屋の換気が影響しているかも。その点に気を付けたい。第5回目のワクチン接種で死亡者が出ているが、医師とよく相談し、異常発生時の対応がきちんとしてできる所で接種を受けたい。また、卒業生・現役生に対し、入会促進の活動を強化したい。

鯨城学園・鯨城会関係：

- ① 10/18（火）：講演会「林与一氏をお迎えして」 20名出席。全体では約300人。出席者は自分が座った席を記入・提出したが、結果的にコロナは発生せず、連絡は行われなかった。
- ② 10/26（水）：グラウンドゴルフ交歓会。天白からは5名参加。杉山さんがホール・イン・ワン賞を獲得。

広報：本日、天白こじょう会だより106号を袋詰め。内容は「趣味の作品展」をメインとした。

行事G：① 10/25（火）：「杵中界限散策」 参加者12名にて実施。

- ② 11/8（火）：「大高歴史散策再チャレンジ」 参加者26名にて実施。

ボランティアG：① 10/23（日）の天白区区民祭りは中止となった。

- ② 11/5（土）：「堀川清掃大作戦」 天白こじょう会9名＋学生4～5名参加。

- ③ 3/12（日）：「ウィメンズマラソン」はボランティア30名参加予定。

愛護会・緑道：上期の実績を見ると、4愛護会は参加者増。緑道は若干減少したが、これは雨天にたたられたため。

同好会：各同好会から上期の活動状況の報告があった。会員の皆様の積極的なご参加をとの呼びかけがあった。

★来年度の総会について、懇親会の開催有無を伺ったところ、食事会の開催を求める方が多数であった。⇒総会后、食事会を行う方向で検討する。

役員会 12月10日(土) 天白スポーツセンター・第2会議室 22名出席

会長挨拶：コロナの感染者がまた増えている。インフルエンザを含めた対策が必要。ワクチンの後反応は女性の方が強く出る傾向があるようだが、差し支えない範囲で受けて欲しい。

鯨城学園・鯨城会関連：① OB文化祭：3月9日(木) 現在9クラブが参加予定。

② 11/17(木)：「16区フェスティバル」 天白こじょう会から28名参加。

③ 11/18(金)：「37期生向け地域ミーティング」陶芸クラス25名に向けて、区のこじょう会の組織、実施事項、同好会等の説明を行った。

総務G：1月20日の34期生向け区会説明会に向けて勧誘文書等を作成する。また、各同好会が独自に勧誘チラシを作って貰えれば配布します。

広報G：天白こじょう会だより107号の原稿募集中。特に34、37期生に向けて活動状況を投稿し、入会募集をPRして頂きたい。

行事G：① 1/12(木)「針名神社初詣」参加者が少ない。今回は全員昇殿参拝できるので、是非とも多くの方に御参加頂きたい。

② 2/16(木)「特殊詐欺防止、交通事故防止に関する説明会」参加募集中。

③ 3/7(火)「平針界限散策と農業センターしだれ梅まつり」参加募集中。

ボランティアG：① 寿荘：令和5年5月開催のさつき祭りまでは応援の必要なし。

② あしたの丘：将棋、編み物、読み聞かせ等個人的な支援ならお願いしたいが、もう少し様子を見たいとのこと。

③ ほほえみ：2回/月、午後に1時間程度、車椅子の散歩、懐かしの歌の合唱等を手伝って欲しいとのこと。天白こじょう会として希望者を募りたいが、もう少しコロナの様子を見たい。

ブロック会：①南天ブロック：11/24(木) 10名で懇親会を実施。

②御幸山ブロック：11/29(火) 10名で徳川園の紅葉鑑賞と昼食会を実施。

③平針ブロック：2/12(日)に講演会(いきいき支援センター)と懇親会を予定。

愛護会：戸笠公園愛護会の八木会長から、年齢的なことがあり、引っ越しもするので会長を降りたいとの申し入れあり。全体に高齢化しており、交通も不便。この状況であれば一時休会にした方がとの意見もあり。

⇒この件に関しては、他の愛護会の状況、愛護会の意味などいろいろな意見が出たが、戸笠公園愛護会については、他の会員の意見を聞いて、今後の進め方を決めたい。

役員会 令和5年1月21日(土) 天白スポーツセンター・研修室 19名出席

会長挨拶：コロナの第8波は非常に感染者が多い。政府からは2類から5類に見直す動きがありますが、感染度・危険度が変わるわけではないので、各自気を付けましょう。

昨日、34期生向けに会員6名で入会説明会を行った。対象者15名に対し8名の出席があり、その場で1名が入会された。出席者からはシルバーカレッジとの両立が可能か等の質問も積極的に出て、手ごたえは感じた。何とか6～7名は入って欲しい。

ポッチャの講習会を2月22日にこの場所で行います。34期生も1名参加します。

ポッチャは既に半数以上の区で同好会ができており、対抗戦も始まっている。天白区でも推進していきたい。

鯨城学園関係：① 令和5年度の募集は1月11日から2月10日まで。ただ、クラス編成が変わ

り、環境と生活が「暮らし」に、健康と福祉が「健康と福祉」に、地域と文化が「歴史と文化」に統合され、定員も542名に減員された。

② 学園行事：・入学式・・・4月7日（金）

- ・第2回地域ミーティング（対象37期）・・・6/12（月）～16（金）
- ・（新設）第3回地域ミーティング（対象37期）、11/29（水）or12/1（金）
- ・第1回地域ミーティング（対象38期）・・・11/15（水）or17（金）
- ・区会説明会（対象37期）・・・令和6年1月（入会申し込みは2月）

鯨城会関係：① 令和5年度の鯨城会会長選挙は2月7日（月）の代議員会で実施。

② 1月20日：区会説明会 鯨城ホールで役員6名、対象15名中8名出席。

③ 3月9日（木）：第13回OB文化祭 鯨城ホール。チラシは2月に配布予定。

総務G：① 地域ミーティングのアンケート結果（37期対象。天白は陶芸クラスを対象に実施）
区の鯨城会の説明について、15名/25名が良く判らないか無回答。次回の説明の機会には工夫したい。ただ22名/25名が参加して良かったと回答してくれたのが救い。

③ 今後のスケジュール（4月以降）

- 4月 1日（土）10：30 34期新入会員説明会 在宅サービスセンター・研修室
- 4月 8日（土）13：30 臨時役員会（総会資料最終チェック）
- 4月15日（土）13：30 リーダー会＋総務（総会資料印刷、袋詰め）
- 4月19日（水）10：00 総会 12：00～ 食事会

行事G：① 1月12日（木）の針名神社初詣。参加者は18名でした。

② 2月16日（木）10：00～「学習会：特殊詐欺防止及び交通事故防止について」
在宅サービスセンター・研修室。16名参加予定。当日参加も可です。

③ 3月7日（火）地下鉄原駅9：45集合「平針界限散策と農業センターしだれ梅まつり」現在、9名が参加申し込み。

ボランティアG：① ウィメンズマラソンボランティア 3月12日（日）30名参加の予定。

活動場所は瑞穂区北エリア（復路だか折り返し地点から近い）のコース整理に決定。

- ・1月22日（日）に、戸谷さんがリーダー研修会に出席予定。
- ・3月4日（土）13：30～ メンバー全員に説明。在宅サービスセンター・研修室

② こころの絆創膏は中止になった。

来年度の役員構成について：小島会長

来年度の役員に付いては小島副会長と中村宏志さんが退会予定。鯨城会幹事の水本さんももう4期も勤めて頂いているので後任が必要。32期・33期だけでは絶対に無理なので、先輩方のご協力が必須です。個別にお願いしていますが、是非ともご協力をお願いします。

ブロック会：天白ブロック（宮前ブロック長）1月26日（木）に天狗で行います。会員数は19名で出席予定者は7名＋小島会長です。（体調不良の方が多い）

愛護会：① 戸笠公園愛護会は、八木勝男さんが退任され、杉山元浩さんが次期会長に就任。

② 植田中央公園特定愛護会は、中島克人さんが退任、坂井詔男さんが次期会長に就任。

同好会：絵手紙同好会は北條道子さんから宮野裕子さんへの会長交代を検討中。但し、会員数が減ってきており、今後の進め方も含めて検討中。

その他：ポッチャ体験会は先着20名となっているが応募は数人。積極的なご応募をお願いします。

37 期生向け地域ミーティング／34 期生向け区会説明会

33 期 地域A 青山 博美

37 期生（1 年生）向け地域ミーティングは、11 月 18 日（金）に鯨城学園で行われた。今回は陶芸クラスが対象で（各区ではない）、対象 30 名中 25 名参加と出席率としては高率であった。その中で天白区在住者は 3 名とのことで、いずれの方も出席された。



会議は鯨城学園の樋口副学長に議事進行を務めて頂き、説明は天白こじょう会から始め、小島会長、小島範雄副会長、青山が、鯨城会の活動としては各区似た部分が多いであろうことから、①会の組織、②活動の概要（総務グループ、行事グループ、愛護会、同好会）を、資料を基に解説した。どれだけ伝わったかは不明であるが、何とか多くの人に鯨城会に入って欲しいことを熱意を込めて説明したつもりである。

続いて天白区社会福祉協議会の瀬戸口事務局次長から組織の目的と活動の概要等が説明された。その後学生からの質疑応答があり、区会間の交流や活動時の保険等について質問が出た。また、瀬戸口氏から、「鯨城会の力は必要。元気な人が増えて地域活動をして欲しい。皆さんの元気の力に期待する。これは鯨城学園設立の大きな目的である」との発言があり、小島会長からは、特に「愛護会は主に月に 1 回、1 時間程度。都合の良い日程と時間を見て、参加しやすい所に出て貰えば良い。同好会にはお試し参加もできるので、まずは気楽に参加して欲しい」。青山からは、「自分が入りたい同好会がなければ新たに作れば良い」等の追加説明を行った。この中で 1 人でも多くの方が鯨城会に加入して貰えることを期待したい。

34 期生（卒業見込み生）向け区会説明会（各区の鯨城会への勧誘説明会）は、1 月 20 日（金）に鯨城ホールで行われた。天白こじょう会は役員 6 名が出席。34 期生の卒業見込み生は当初よりかなり減って 15 名しかいないが、当日は 8 名の方が出席された。資料は天白こじょう会の組織・活動概要と、同好会の紹介をメインに準備したが、それらは以前に説明しているので、時間が少ないことから資料は後でゆっくり読んで頂くこととし、主に質問を受け、それに回答することに多くの時間を当てた。出席者からは、「①シルバーカレッジとの両立は可能か。シルバーを卒業してから加入しても良いか。②クラブは途中から加入できるか。やめる時はどうなるのか。③愛護会に参加した場合、出欠は厳しいのか。」など積極的に質問が出され、こちらからは決して堅苦しかったり厳しいことはないことを説明した。何とか多くの方に加入して頂けることを祈っている。



37 期生向け地域ミーティング



34 期生向け区会説明会

鶴舞公園クリーンキャンペーン実施報告

32 期 地域 B 小島 明

令和4年10月1日（土）快晴の中、9時45分に現地集合しました。
天白こじょう会の担当は鶴舞公園をA～Dの4分割した中のCブロックで主に緑化センター、中央図書館のエリアで、緑区、名東区、港区、天白区の4区が担当しました。

天白区のメンバーは14名と、天白在住の学生が34期2名、37期4名の合計20名が参加しました

天白区の担当区分は緑化センター近辺の清掃がメインで、各々トンゴとゴミ袋、軍手を支給され作業開始致しましたが、皆様ご承知の通り、鶴舞公園は清掃が定期的に行われ、又園内の工事業者の清掃もあった為、ほとんどゴミは出ませんでした。学生の皆さんからも困ったとの声が出た為、急遽花壇に落ちていた松ぼっくりを拾い、ゴミ袋に入れて格好が保てました。

学生の皆さんとは作業中に話が出来、終了後の食事会に誘ったところ、37期の方2名が参加され、楽しく有意義な時間を過ごす事ができました。



鶴舞公園にて

いりなか界隈歴史散策

33 期 国際 B 小島 範雄

10月25日(火)秋の快適な一日、12名の参加で開催しました。

地下鉄いりなか駅で昭和区案内人クラブのメンバー5名と合流し2グループに分かれて散策開始。いりなか〜八事地区は坂道が多く、いきなり坂を上り香積院を参拝。当院は曹洞宗のお寺で本堂・観音堂の一葉観音像を拝観した後、天井一面に描かれている須弥山(しゅみせん)の天井画を寝転がって見学しました。境内の枝垂れ桜は、春に見事な花を咲かせることで有名です。



般若臺(はんにゃだい)にて

次に八事層が現れている地層の前で地形の成り立ちの説明を受け、江戸時代の名勝地である香積院別院の般若臺を参拝。そこからいったん坂を下り最後に勾配22%の急な坂道を上り南山大学へ。正門をくぐった左手の建物の地下が最後の目的地、南山大学人類学博物館です。同館の最大の特徴は資料のほとんどが、直接手に取って触ることが出来ることです。

見学後は同大学の学食(レストラン)でランチをし、何十年ぶりの学生気分を味わいました。

グラウンドゴルフ交歓会に参加して

グラウンドゴルフ交歓会 実行委員

24 期 生活 B 八木 勝男

コロナ禍の中、3年振りに開催された第21回グラウンドゴルフ交歓会は、10月26日(水)に好天の下、庄内緑地公園の陸上競技場で、各区から計200名以上の参加がありました。今回は出場者が少ない区がいくつかあり、団体戦は行わず個人戦のみでホールインワンをゲットすべく行われました。天白こじょう会からは私を含めて計5名が参加し、8ホール2ラウンドで熱戦が繰り広げられました。残念ながら入賞はありませんでしたが、30期の杉山元浩さんが見事ホール・イン・ワン賞に輝き、皆で楽しい1日を過ごすことができました。

グラウンドゴルフは健康によく、次回は是非皆さんの参加をお待ちしています。





左から、小島会長、杉山、鈴木、市川、八木（敬称略）



競技模様

令和5年 針名神社初詣

31 期 地域 A 市川 正信

地下鉄平針駅に 13 名、直接神社へ赴いた方 5 名の計 18 名の参加を得て、針名神社の初詣を 1 月 12 日（木）に行いました。当初、参加者が少なく心細く思ったのですが、小島会長からメール等で参加の呼びかけをしていただいたところ 18 名まで参加者が増えました。ありがたく思うと同時に天白こじょう会の絆の強さを感じました。



神社では昨年同様コロナ感染症対策の措置がとられ、拝殿内はビニール製の幕で仕切られていました。一同揃ったところで拝殿にて、禰宜さんのお祓いを受けた後、小島会長の玉串奉奠に併せて天白こじょう会の発展と会員の健康を祈願しました。禰宜さんからは、今年の十干十二支は「癸卯（みずのとう）」にあたり「これまでの努力が花開き、実り始める年」でよい年に向かっていくだろうとのお話がありました。また、絵馬には願いを「健康長寿」「交通安全」と書き記し奉納しました。

今年も初詣後の新年会は控えましたが、来年こそは開催できるようにコロナ感染症の収束を願うばかりです。



記念撮影（今年の行事始めです）



絵馬奉納（小島会長）

歴史散策：大高に参加して

33期 地域A 青山 博美

11月8(火) 実施の歴史散策：大高に参加しました。当初7月に予定されていたものが雨で中止になり、今回バスツアーの代替え企画となったものです。

今回は快晴で、歩くのに気候も良く、絶好の歴史散策日和となり、参加者も26名の多数となりました。大高歴史の会の2名の方にガイドをお願いし、JR大高駅からバスで折戸まで行き、(そこが氷上姉御神社の一の鳥居跡。昔は熱田からこの地点まで船で来た) 参道を通して神社に向かいました。途中に熱田神宮に奉納する米を作るための田があり、6月第4日曜日に催される「大高斎田御田植祭」はテレビのニュースにもなります。この氷上姉御神社は摂社ながら熱田元宮と呼ばれ、謂れは日本武尊が伊吹山の賊を平定に行く時、相手を甘く見て草薙の剣を奥さんである宮簀媛(みやすひめ)に預けたまま平定に行ってしまった。ところが伊吹山の賊と言うのは土地の大物主で、日本武尊はその祟りを受け、結局帰らぬ人となってしまった。宮簀媛は草薙の剣を守っていたが、後に熱田に社殿を建て、剣を納めたというのが熱田神宮の起源とされています。神社の社殿もなかなか風格があります。そこから戦国時代の大高城主の水野氏の菩提寺である春江院(ここは禅寺で立派な本堂と鐘楼、今回は見学できなかったが有松の竹田家から移された書院などがある)を経由して大高城へ向かった。この城は令和5年度のNHK大河ドラマ「どうする家康」の最初の部分の舞台であり、家康(当時は元康)の桶狭間の戦いにおける大高城への兵糧入れが有名です。この地を歴史散策のコースに選んだのはこのことを念頭に置いています。大高城は堀跡や広い城域が残されており、城跡好きには見所十分です。北側からは織田方の丸根・鷲津の砦跡がすぐ近くに見え、当時の臨場感も十分です。桶狭間の合戦は、信長が今川勢を誘って起こった戦いとか、まだ判っていない部分が多くあるとのこと。

そこから神の井酒造で買い物をし(コロナ以前は酎酒や見学ができたのですが、今はNGです。大高には名古屋市内に5軒しかない造り酒屋の内3軒があります)、町屋川ハ幡社と珍しい奉安殿

(戦前、各小学校に天皇・皇后の御真影と教育勅語が収められていた建物。戦後殆どのものが破壊され、残っているのは少ない)を見て、昭和30~40年代のにぎやかな街並みがあったことなどの説明を受けて大高駅に戻りました。立派な案内書も頂き、楽しい散策会でした。



＜氷上姉御神社にて＞

鯨城会 16 区フェスティバル開催報告

16 区フェスティバル 実行委員

30 期 国際 B 馬場 興樹

第3回 16 区フェスティバルが 11 月 17 日（木）、東スポーツセンターにおいて 3 年ぶりに開催されました。5 月から始めた準備の段階ではなかなか収まらないコロナ禍の中で開催できるか見通しのきかない状況ではありましたが、実行委員会の中で前向きな協議を重ね、何とか開催に漕ぎつけることができました。特に競技の種目選定、参加人員の検討においてはコロナ感染対策を主眼に様々な意見が出され、規模の絞り込みと運営方法の工夫を行いました。最終的には 16 区の実行委員とサポーター全員で投票を行い、①負けるが勝ちジャンケンポン、②カニサン横歩き、③輪投げ、④玉入れの 4 競技と、⑤全員参加型の盆踊りに決まりました。またボッチャ競技については各区の取り組みに大きなバラツキがあるため、次回以降に検討することになりました。



各区における参加者募集に際しては希望者が少なく苦戦した区もありましたが、なんとか 16 区全てが揃って参加することができ、400 名余りの会員が参加する大変盛況な 16 区フェスティバル開催となりました。

天白こじょう会では役員他会員皆様のご協力を頂き 28 名の参加者がありました。直前に当初希望とは異なる種目への変更をお願いした方もいましたが、皆様快く受けて頂き楽しく競技に参加されていました。今回はコロナ感染対策のため昼食が各自準備、黙食となったのが心残りではありましたが、午後 3 時に事故や怪我もなく全ての競技・アトラクションが終了しました。ちなみに当区会は参加者全員の奮戦で 4 位で競技大会を終えることが出来ました。会員皆様のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。有難うございました。



玉入れ競技模様



久しぶりにマスクを外して笑顔でパチリ！

御幸山ブロック会の1年を振り返って

29期 生活A 佐々山 浩将

コロナ禍も早4年目に入りました。

この1年も毎日発表される感染者数に一喜一憂の日々を、送ってまいりました。不謹慎とは思いながらも、身の回りでは中々“感染”した実感がなく、唯々その数の多さと異常なほどの報道に恐怖さえ感じながら過ごしてきました。それがここ半年位前からは、今迄他人事の様に思っていたことが、身の回りのあちこちで実際に感染者が出、やはり現実の事なんだと改めて、実感しているところです。“第8波”の峠は過ぎて感染者数もかなり減少してきておりますが、まだ不安は尽きません。新薬の使用承認が近々見込めるとか、新型コロナウイルスの感染症法上類型の見直しが近々あるとか、明るい報道も出るようになってきました。



徳川園前にて

当ブロック会としましては、上記の明るい報道に期待しつつも油断することなく、本年（令和5年）は、何とか以前の状態に戻し、年2～3回の行事を行いたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

尚、令和4年は5月6日食事会、11月29日徳川園紅葉散策と食事会を夫々実施致しました。



大寒波襲来「初雪と横町の四季桜」

天白ブロック〈新年会に参加して〉

32 期 国際 B 遠藤 信子

大寒波到来の中、1月26日（木）に原の和食レストラン天狗で新年会を開催しました。参加者は、小島会長にも参加していただき16期生から32期生までの7名でした。ブロック長の宮前裕道さんから「体調不良の会員が多く参加者が少なくなった」との報告がありました。

コロナ禍もあり様々な取り組みが中止となり、入会から4年近くになって初めてのブロック会の行事でした。

小人数ならではの利点でしょうか、乾杯の後すぐにそれぞれが打ち解けたように会話がはずみ、終りに近づいてから自己紹介となりました。一人ひとりの意外な一面を知ることができ、16期生の先輩からは鯉城学園のあるべき姿、将来像について真剣に考えて来た歴史や、

同期の失敗談（夏の楽しみであるビール工場見学会でのでき事）などがユーモアを交えて語られました。久しぶりでしたが会話が弾み楽しいブロック会に成りました。

コロナ禍もあり何処のこじょう会でも会員が減少傾向する中、70代でも「若者」扱いされる風潮があります。

小島会長からは、今のところ地域ミーティングなどの参加者の状況からして来期の入会者の予測は少し明るい？との発言もあり期待したいところです。



和風レストラン天狗にて

原ブロック会の活動報告

29 期 地域 A 小川 司郎

去年の10月7日（金）11時から若松において、小島会長をお招きして計7名で講話と懇親会を開催しました。

コロナ禍によって対面で集まるのは久しぶりでしたが、皆様のご協力により楽しい時間を過ごすことができました。

冒頭に小島会長からご挨拶を頂いた後、原ブロック28期須崎さんの退会と

31期川上さんの入会を報告し、続

いて23期鈴木泰治さんから天白区の地名の由来などについて、準備された資料に基づき有益なお話を頂きました。その後感染症対策に気を付けながらも和気藹々の内に食事を頂き、1時過ぎに解散しました。



天白川緑道清掃活動に参加して

33 期 地域A 青山 博美

公園・街路樹の愛護会は名古屋市の土木事務所への登録ですが、天白川緑道清掃活動は天白区役所の地域力推進室に登録し、街づくり活動の一環として活動しています。双方とも清掃ボランティアで（愛護会によっては花壇を作って管理されている所や、地域の人と一緒に活動されている所もある）担当する区域をきれいにし、来られる方々にできるだけ気持ちよく過ごして貰えるように、また、心無くゴミを捨てたり汚したりする人が少しでも減るようになって活動しています。



少し前にテレビで見たのですが、「Altruism ※」と言う言葉があり、人や世の中の役に立つことをしているということが、特に高齢者の生きる意味や生きる心の支えとなることでした。自分が世の中の何かの役に立っていると思いながら、これからも参加していこうと思っています。

※「アルトライズム；利他・愛他主義。
反対語はエゴイズム」



集合写真

天白公園第4愛護会活動への案内

27 期 地域 水野 正弘

天白公園第4愛護会の活動場所は天白公園内の西の山一帯です。毎月第4土曜日の午前9時に天白公園に集合し、1時間ほど西の山周囲と、山の中の遊歩道付近のゴミを集めます。

現状は、毎回7～8名の方に参加して頂いています。ゴミ袋とトングを持って各々コースに別れてゴミを拾い集めます。

以前に比べるとゴミは随分と少なくなりましたが、まだペットボトル、ジュース缶、菓子の包装紙等があります。

このコースはほとんどが林の中の道で、緑が多く、静かな気持ちの良いコースです。月1回、土曜日の朝、ウォーキングをする気分で参加して下さい。掃除が終わった後、公園で春は花見、秋は紅葉狩りの楽しみもありますよ。

気軽に出来る地域貢献です。健康維持にも良いチャンスです。是非一度参加して見て下さい。



麻雀同好会の1年を振り返って

29期 生活A 佐々山 浩将

コロナ禍ではありますが、マスクの着用・手消毒・換気の徹底の基本を守り予定通り続けて開催いたしました。

「4月～12月」の開催は、9回（毎月1回）、参加人数65人。最大4卓までできます。

※健康麻雀です。初めての方大歓迎!!

お友達をお誘いの上是非ご参加ください。

- ・毎月第1木曜日 13:00～16:30、八事東コミセン
- ・会費は部屋代として、1回に付き200円頂きます。



〔連絡先〕

- ・佐々山 浩将 Tel 090-9949-5202
- ・綿貫 幸夫 Tel 090-1411-7733
- ・奥村 恵子 Tel 090-7687-3651

囲碁同好会活動のご紹介

32期 健康A 奥村 恵子

毎月第3水曜日に「原」コミュニティーセンターで13時から16時頃まで活動しています。毎回は段者を含め8名前後が集まりますが、初心者でも気兼ねなく参加できる会です。諸先輩方にやさしく丁寧に指導を賜っております。



始めて3年経ってもなかなか進歩せず、とても上達しているとは思えません。みなさんと交流できることがとても楽しいです。

これまで女子はわたくし一人だけでしたが、12月に29期の柘植節子さんが初心者として囲碁を体験されました。興味をもたれたようで今後も参加されとのこと。女子仲間が一人増え、嬉しく思っております。これからも3人、4人と女子友を増やしていきたいので、参加をお待ちしております。



リズム体操同好会に参加してみませんか

24 期 環境 山内 君子

リズム体操同好会の創立は平成 17 年 3 月 1 日（2004 年）、今年で 19 年となりました。天白こじょう会では一番歴史のある同好会で、一時は会員数 80 余名でしたが、現在は 13 期から 32 期まで 40 名余で活動しております。特色は卒業生以外の方も入会可能で 1 ヶ月 3 回、平針新公民館で開催しております。

新型コロナの感染症防止対策の為にアルコール消毒液の設置、利用者の手洗いやうがい、入館時の検温、マスク着用の徹底をしております。また窓の開放による定期的な換気をして「三つの密」を避ける為の対策をして楽しく活動しております。



日々の健康維持の為に睡眠と栄養・休息の他に体を動かすことが必要とされております、運動不足の方にはリズム体操は最適な同好会ですので、超高齢化時代に備えて体力作りのために是非参加されますことを、会員一同心よりお待ちしております。

“爽快ですよ”
“待っています”

天天会活動のご紹介

20 期 生活 A 西 かず彥

天天会が発足して 15 年近くになります。ここ数年のコロナ禍の中でも消毒、マスク等の用心をしながら続けて来ました。今年 1 年間の参加者は月平均 10 名前後、時には他地区の方も和気藹々と参加されています。

鯉城学園を卒業すると既に高齢者の仲間入りです。毎月天天会で顔合せすること（おしゃべり＆笑顔）が安否確認と認知症予防にも役立っていると思います。

地下鉄原駅近くの“和風レストラン 天狗”で、毎月 20 日午後 4 時開宴、2 時間ほどで解散です。参加自由です。ぜひ一度参加してみてください。1 人夕食より断然楽しいですよ。



〔連絡先〕

・西 かず彥 Tel 090-5619-4102

〔和風レストラン 天狗〕

Tel 052-808-1661

久しぶりに「マスク」を
外して “はいチーズ！”

今期の健康ウォーキング同好会を振り返る

32 期 地域 B 小島 明

健康ウォーキング同好会は水野正弘会長以下 27 名の会員で、毎月第 1 水曜日に地下鉄原駅に 9 時半集合で和気あいあいで 2 時間程ウォークし、昼食は自由参加で楽しんでいます（最近はコロナ禍の影響で参加者が 15 名位です）。残念ながら 8 月は猛暑の影響で中止となりました。10 月には同好会初の県外散策で名鉄電車と岐阜バスを利用して岐阜城とその周辺を歩きました。

来期も楽しい企画を致します。自由参加ですのでご希望の方は、事前にご連絡下さい（敬老パスはご準備下さい）。

〔連絡先〕 会 長：水野 正弘 Tel 080-3615-1685
担 当：小島 明 Tel 090-6640-2901

〔今期の訪問先〕

4 月 天白川の桜を楽しむ

5 月 相生山緑地・オアシスの道

6 月 旧東海道・宮の渡し

7 月 大江川緑道

9 月 東山一万歩コース

10 月 岐阜城と城下町

11 月 名古屋北東部戦痕を巡る

12 月 原から旧宮道



4 月 天白川の桜



9 月 東山動物園入口にて



10 月 岐阜城



11 月 鍋屋上野浄水場から望む

カラオケ同好会に入会して

31 期 国際A 稲垣 比佐代

鯨城学園を卒業して数年過ぎてからの入会で大丈夫かしらと思いながら、当時の重要文化財クラブで一年先輩の栗山さんに連絡しました。以前にカラオケで同席させて頂いた、天白区の方を思い出したのです。



私は鯨城学園入学以前から主人の介護をしていました。施設や病院でコロナのため次第に面会ができなくなり、自宅介護を選びました。そして昨年、自宅で看取りをしました。壮絶な介護の末の喪失感は心身に応えました。一人でいると声が出なくなると言われ、以前の楽しかったカラオケ（声が出せる）を思い出し、栗山さんに連絡したのです。

歌うことが好きな方々と歌って拍手し、笑いあっていくうちにだんだん元気になりました。鯨城で共に学んだ人達は、それだけで親しく信頼できるのが素晴らしいです。天白こじょう会、カラオケ同好会に参加し、協力していきたいと思います。よろしくお願いします。



絵手紙との出会い

30 期 美術 北條 道子

以前から興味があり、やってみたいとの好奇心から、天白こじょう会入会と同時に絵手紙同好会に入会しました。

最初は戸惑いの連続で慣れるまではなかなか苦戦しました。鉛筆でスケッチする絵と違い、絵手紙は大胆に筆で直接はがきに書き始め、消すことができないのが大きな違いです。色塗りに特徴があり、「水彩絵の具」と「顔彩絵の具」の違い



いになかなか慣れませんでした。

しかし絵手紙と同時に切り絵や置物作りなども行ううちに、次第に自分のペースで思うようなものができるようになり、絵手紙が楽しくなってきました。

これからは何事にもチャレンジしたいと思っています。

映画『MINAMATA—ミナマター』を観て

水俣病 66 年＜ユージン・スミス&アイリーン・美緒子・スミス＞

26 期 国際 齊藤 昌和

(1) ユージン・スミスと妻アイリーンの水俣

水俣へは 15 年程前に仕事で熊本に出かけた折、2 度ほど訪れた。その時水俣資料館に立ちよって水俣病に関しての本を数冊買ったが、その中に報道写真家ユージン・スミスに関する本もあった。また、平成 24 年には山田由美氏の『ユージン・スミス 水俣に捧げた写真家 1100 日』が発刊された(注1)。



そして映画に先駆けて石井妙子氏が取材に 14 年をかけた『魂を撮ろう ユージン・スミスとアイリーンの水俣』が出版された。ユージン・スミス夫妻の経歴と水俣病の歴史が記されており、この一冊を読めば水俣病の「過去」そして「未来」への問題が提起されており貴重な本である(注2)。



ユージン・スミスの水俣での活動の映画は、ジョニーデップが制作・主演を務め、令和 3 年 10 月から名古屋駅前の劇場でも上映された。ユージン・スミスは日本で公害が深刻な社会問題となる契機となった水俣病と取り組み、昭和 46 年から水俣市に住んで病と偏見に苦しむ患者を撮り続けた米国の写真家である。

映画の舞台は、水俣病の被害者と原因企業チッソの対立が表面化していた昭和 45 年代前半の水俣市。写真家ユージン・スミスが妻アイリーンと水俣市を訪れる。彼は患者の両親やチッソと闘う活動家らと交流する中で、被害者の実像をカメラに収めていく。

映画監督のレビタス氏は、水俣市民の中に「そっとしてほしい」という声があることについて「まさにそこを描きたかったです」と理解を示す。この映画に対して水俣市は負のイメージが広がることを危惧して協賛をしていない。

映画物語りの軸は、その 1 枚の写真に至るまでの彼の悶えだ。印象的なせりふの一つを國村隼が演じる原因企業社長が口にする。この公害は“ppm”つまり 100 万分の 1 単位の招かざる異物の話として“無視”を正当化する。翻って主人公は数十億分の 1 の命の重さを自分の熱を加えて現像した写真で証明していく。

昭和 31 年(1956 年)に水俣保健所が「原因不明の奇病発生」として公表してから 66 年が過ぎても、被害者たちの苦しみは続く。社会が水俣病や世界中の公害病とどう向き合うべきか考える意義は大きい。

ユージン・スミスが『ライフ』誌 1972.6.2 号に発表した『入浴する智子と母』は、胎児性患者と母親を被写体としたもので、世界に大きな衝撃を与えた。



(注1) 山口由美 同著で第 19 回小学館ノンフィクション大賞を受賞

(注2) 石井妙子 『原節子の真実』で 2016 年に第 15 回新宿ドキュメント賞

『女帝 小池百合子』で 2021 年に第 52 回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞

(2) 水俣病は、日本の化学メーカーであるチッソ（旧社名は新日本窒素肥料で、昭和 40 年に改称）水俣工場が海に流した廃液（メチル水銀化合物）により引き起こされた公害病である。廃液の海への排出は昭和 21 年から 33 年まで続いた。

<闘った人々>

- ① 石牟礼道子：『苦海浄土 わが水俣病』の著者。方言を駆使した語り体で、表現を持たない患者の代弁者として水俣病を描き切り、視線は日本近代の総体に対する批判まで及んでいる。この活動により、マグサイサイ賞、紫式部賞、朝日賞、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。但し第 1 回大宅壮一ノンフィクション賞は辞退。

水俣病の患者や家族の苦しみを壮絶に、そして清冽に描いた『苦海浄土』は名作というばかりでなく現代を代表する世界文学の一冊というべきであろう。



“祈るべき天とおもえど天の痛む”

- ② 原田正純：医師。熊本大学医学部で水俣病を研究し、胎児性水俣病も見出す。
③ 日吉フミコ：水俣病市民会議議長、議会で市長を批判して 2 回懲罰動議を受け炎の女と言われた。小学校女性教頭出身の社会党議員で純情正義主義者。
④ 宇井純：「公害言論」で水俣を告発し国を批判。東大では万年助手であった。
⑤ 馬奈木昭雄：弁護士。水俣病をはじめ、じん肺訴訟、産廃処分場、有明訴訟で画期的判決を引き出す。
⑥ 川本輝夫：水俣病患者で自主交渉派代表。社長と直接交渉する。

<闘った相手>

チッソ企業、水俣市、熊本県、国（所轄官庁）、御用学者。

宇井氏の資料にて、御用学者に東工大清浦教授、東大田宮名誉教授、勝沼教授とその弟子たち、東邦医大戸田教授、日化協大島専務理事。東大系の学者は熊本大学の研究成果をすべて否定する。

所轄官庁の厚生省や通産省は無関心より積極的に妨害をする。原因について調査を進めていた食品衛生調査会の水俣中毒部会が有機水銀説を認める答申を出そうとすると、高級官僚が引きのばそうと試み、答申後にこの部会を一方的に解散した。以後の研究は経済企画庁、通産省、厚生省、水産庁からなる全く新しい協議会に移されたが工場側の主張を強力的に支持し、有機水銀説に反論を積極的に振りまいた。他の革新団体や、ことに宗教界は傍観するのみであった。

明治時代の足尾鋇毒事件では、代議士の田中正造やキリスト教伝道者の内村鑑三が応援したが、すべて宗教界は傍観し、石牟礼さんに“宗教は死んだ”といわしめた。チッソは水俣市の人口の 8 割が同社の関係者であり、国にとっても近代産業発展の原動力になっていた。

水俣病は熊本大学医学部の研究によって、原因は新日本窒素肥料工場からの排水に含まれるメチル水銀化合物であることが、疫学、臨床、病理、動物実験、水俣湾周辺の動物、魚介類、海底泥中の水銀量証明など、あますところなく学問的に証明された。その責任は、学問的証明があるにかかわらず、それを政治的に認めようとせぬ当該企業、地方自治体、日本政府にあることは言うまでもない。



昭和 43 年（1968 年）9 月 26 日、厚生省が政府統一見解を発表。水俣病を公害病と認定し、初めて企業責任を打ち出した。熊本県で最も早期の胎児性患者が昭和 27 年に出生、28 年には 5 歳児の患者が確認されており、15 年以上経過していた。

行事予定表（3月～7月） * 1月末時点での予定です。変更・中止にご注意下さい。

行 事	実施予定日・時間等					場 所	担当者 (令和5年度予定)
	3月	4月	5月	6月	7月		
役員会	10(金) 13:00 袋詰・役員会	8, 15(土) 13:30 臨時役員会	13(土) 13:30	10(土) 13:30	7(金) 13:00 袋詰・リーダー	天白在宅サービスセンター、生涯学習センター、他	小島 明 青山 博美
拡大役員会・総会	拡大 11(土) 13:30～	総会 19(水) 10:00～			拡大 8(土) 13:30～		
広報 こじょう会だより ホームページ更新	11(土) 107号				8(土) 108号		川上 茂雄
	随時						
行 事	7(火) 平針地区 史跡散策と しだれ梅	19(水) 総会後の 食事会	検討中	(未定) 検討中	(未定) 検討中		(未定)
鯨城会関連行事	9(木) OB文化祭						(未定)
	12(日) ウイメンズ M.						
ボランティア活動	植田中央公園 特定愛護会	毎月第1,3土曜日 (雨天の場合翌日)			9～10時	植田中央公園	坂井 詔男
	戸笠公園愛護会	毎月第3土曜日 (雨天の場合翌日)			9～10時	戸笠公園	杉山 元浩
	天白川緑道清掃	毎月第2金曜日 (雨天の場合翌週、1・8月は休み)			9～10時	天白区役所	豊田 悦造
	天白公園第4愛護会	毎月第4土曜日 (雨天の場合翌日)			9～10時	天白公園	水野 正弘
	第三街路樹愛護会	毎月第3土曜日 (雨天の場合翌週、1・8月は休み)			9～10時	植田公園	小山 良太
	施設訪問	調整中				あしたの丘	戸谷 和代
		調整中				特養ほほえみ	
		調整中				寿荘	
同好会	グラウンド ゴルフ	毎週木曜日 毎週金曜日			9～12時	植田中央公園 天白公園	林口 強
	リズム体操 クラブ	毎月1、2、4の月曜日 (祝日や講師の都合で変更あり)			10～11:30	平針新公民館	斉藤 昌和
	カラオケ同好会	毎月第1月曜日			14～16時	ジャパソフ カー/天白	綿貫 幸夫
	天天会(食事会)	毎月20日			16～18時	和風れすと らん天狗	西 かず系
	アウトドア会		(未定)				斉藤 昌和
	史跡散策	行事Gと 共催					佐治 學
	パソコン研究会	毎月第1、2、3月曜日			1班: 13:15～14:40 2班: 14:50～16:15	生涯学習 センター	鈴木 泰治
	囲碁同好会	毎月第3水曜日			13～16:30	原コミセン	西尾 克己
	健康ウォーク	毎月第1水曜日				地下鉄原駅 9:30集合	水野 正弘
	麻雀同好会	毎月第1木曜日			13～17時	八事東 コミセン	佐々木 浩将
	太極拳同好会	毎月3回、金曜日			13:30～15:30	原コミセン	馬場 興樹

〈訃報〉

八木 良三 さん

南天白ブロック 11 期 文化 B

11 月にご逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

令和 5 年度 総会開催のお知らせ

・日時：4 月 19 日（水）10：00～

・会場：天白生涯学習センター 第 1 集会室

※総会後、会場を木曽路に移して食事会を開催します。

短歌 4 首

26 期 国際 斉藤 昌和

- ・ 若き日にシベリア鉄道憧れて紀行を読みロシア語学ぶ
- ・ 大学の学生街の喫茶店「黒い瞳」や「ともしび」流る
- ・ 医と共にアフガン水路開拓を受け継ぐ会へ僅かを捧ぐ
- ・ 分断の悲しみ癒す望郷のラフマニノフの調べを聴きて

編集後記

107 号の発行に際しては、コロナ感染症第 8 波の最中ではありましたが、皆様のご支援を頂き無事発行の運びとなりました。ご協力に感謝申し上げます。

猛威を振るった第 8 波も年明けから徐々にではありますが減少傾向を見せ、政府の行動規制が大幅に解除されました。5 月の連休明けには感染症法の位置づけが「5 類」に移行され、マスクの着用方法など具体的な行動指針も示されると報道されています。「With コロナの日常」という言葉が現実味を帯びてきました。まだ我々高齢者にとって手放しで喜べる状況とは言えませんが、4 月には新しく 34 期生が加入して参ります。明るい希望を持ちながら共にこじょう会活動に励み、生活をエンジョイして参りましょう。

広報リーダー 川上 茂雄



天白公園の桜

〈編集スタッフ〉

発行責任者	小島 明
広報リーダー	川上 茂雄
編集委員	宮前 裕道 池田 雅子
	伊藤 初枝 福永 時継
	遠藤 信子 青山 博美